

ごけん

平成 22 年

秋

号

読売新聞社が「特別協賛」

日本語検定は、平成 22 年度第 2 回の検定より、
読売新聞社に特別協賛していただくこと
になりました。



日本語検定 実施予定

平成 22 年度第 2 回 (通算第 8 回)

[一般会場] 11月 13日(土)

[準会場] 11月 12日(金)・13日(土)

[申し込み期間] 8月 2日(月)～10月 15日(金)

もくじ

ごけんインタビュー 山内純子	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
平成 22 年度第 1 回 個人表彰	6
ごけん質問箱	7
受検団体・受検者の声	8
第 2 回「日本語大賞」作品募集のお知らせ	10
にほんごん にほんご劇場	11
新刊案内/プレゼント・クイズ	12



日本語検定公式キャラクター「にほんごん」





山内純子

山内純子 (やまうち・じゅんこ)
ANA ラーニング㈱ 取締役会長
日本語検定委員会 審議委員長

宮崎県延岡市出身。

1970年全日本空輸㈱入社。客室乗務員として伊丹空港（現・大阪国際空港）を拠点にフライトに従事。1991年に管理職に昇格後、ANA客室部門の要職を歴任し、2004年4月、執行役員客室本部長に就任。航空業界初の女性役員として、約4,800人の客室乗務員の育成に尽力。2007年6月より取締役執行役員。現在はANAラーニング㈱取締役会長として、広く人材開発の研修事業に携わる。

日本語検定委員会の審議委員長である山内純子さんは、全日本空輸（ANA）で客室乗務員（キャビン・アテンダント、以下CA）のトップとして後進の育成に尽力されたのち、現在は接客・ビジネスマナーやヒューマンエラー対策、人材育成などの研修事業を展開するANAラーニングの取締役会長として活躍されています。

今回のインタビューでは、接客における言葉遣いを中心に、日本語についてのお考えをうかがいました。

CAに求められる言葉遣い

CAには接客力が不可欠ですから、新人CAは最初の2か月の訓練のなかで、最低限お客様に失礼のないレベルまで接客力を高めてから、実際のフライト訓練に入ります。そして、お客様を前にしてフライトを重ねるなかで、さらに言葉遣いや接客に磨きをかけていきます。

一番大事なことは、マニュアルどおりに「おはようございます」や「いらっしゃいませ」を言うのではなく、お客様の状況、雰囲気、に合ったお声かけをするということです。そうすることによって、お客様が「自分に声をかけてくれたんだ」という実感をもってくださるのです。この意識をもつことを、初めに徹底させます。

そして、丁寧な言葉が適切に使えなければいけません。これは冗談みたいな事例なのですが、お客様に「まじでございますか」「やばうございます」と言ってしまったという話を耳にしました。とっさに適切な言葉が出て

こず、「まじ」「やばい」というふだん使っている言葉に「ございます」をつけて、丁寧な言葉遣いをしたつもりになってしまったのでしょうか。ほかにも、機内食サービスで、肉料理がなくなったことをお客様に伝えるとき、「お肉はもう、おなくなりになりました」と言ってしまったとか。これも、丁寧に言おうとしている気持ちは分かります。ただ、言葉遣いの基礎が自分のものとして身につけていないのです。

言葉遣いをめぐる環境の変化

最近の若い人を見ていると、周囲の大人が丁寧な言葉を使っているという環境にはいないようです。団塊の世代の人たちは、自分たちの親がとても厳しかったので、逆に子どもたちに丁寧な言葉を使わせることを重視しなかったり、友達のような言葉で親子関係を成立させることに憧れたりするんですね。その結果、昔は親を見て自然に身につけていた言葉が、なかなか身につかなくなっているように思います。以前は、

言葉遣いについての研修に今ほど時間をかけなくてよかったんです。「時代とともに言葉は変わる」といいますが、ここは変わってほしくなかったと思います。

昔の日本映画を見ていると、普通の家庭のお嬢さんでも、とても言葉が丁寧なことに気づきます。当時は丁寧な言葉遣いをするのが当たり前だったので。わたし自身は、母の言葉遣いに憧れて、幼いころ、よく電話に出るときの母の口調を真似していました。身近に丁寧な言葉遣いの手本があると、意識が変わりますよね。今の若い人たちに責任はないのですが、そのような環境がまわりにない、というのは残念なことです。

言葉遣いを身につけるには、まず「心」から

今、大学では、学生に社会人としての適応能力を身につけさせてから世に出さなければいけないという意識が高まっています。また、入社後に改めてビジネスマナーを学ばせようという企業が増えています。取引先は、こちらの言葉や態度をそのまま受け取りますから、言葉遣いによって、仕事がうまくいかいかないかが決まることもあります。そんな危機感が広まってきているのでしょう。

ANAラーニングでは、ANAグループで培った技術やノウハウをベースに、単にスキルの向上だけではなく、仕事への姿勢などトータルに人を育む研修プログラムをご提供しています。それによって、組織づくりや人材育成のお手伝いができればと考えています。

ご提供する研修では、この言葉はこう言う、という敬語表現の形だけではなく、なぜそう

いう表現をすべきなのか、どうしてそのように言うかと喜ばれるのか、という「なぜ」の部分、つまり「心」にかかわる部分をまず理解してもらいます。「心」が前提にあれば、行動も言葉もついてくるというのが、わたしたちが掲げるコンセプトです。

美しい日本語とは、相手を幸せにする言葉

外国語にくらべ、同じことを言うのに様々な表現ができることが日本語の特長だと思います。日本語がこんなにすてきな言語であることを知らないでいるのは、もったいないと思いませんか。豊かな表現ができれば、自分自身が豊かになるし、そうなれば自分のことがもっと好きになるのではないのでしょうか。

また、豊かな表現は、人を幸せにすることができるとも思います。相手の気持ちをくみ取り、相手を思いやって選んだ言葉を使うことによって、会話がはずみ、相手が幸せな気持ちになる。正しい日本語と美しい日本語は必ずしもイコールではありませんが、そのような、人を幸せにできる言葉が、美しい日本語だと思います。

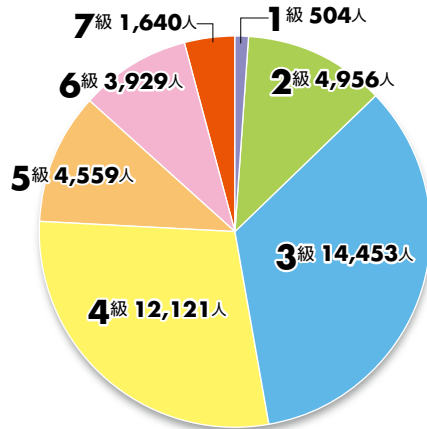
わたしは、日本人であれば、人を幸せにできる日本語のよさ、美しさを、もっと知っているのではないかと思います。日本語のよさを知れば、外国に対しても誇りがもてますよね。グローバルな人材を育成するためにも、日本語をしっかり教えることは大事なことです。そのためには、若いうちから、自然な形で日本語のよさを知ることができると、教育が不可欠です。その意味でも日本語検定に期待しています。多くの人が日本語に関心をもつきっかけになってほしいと思います。

ごけん情報板

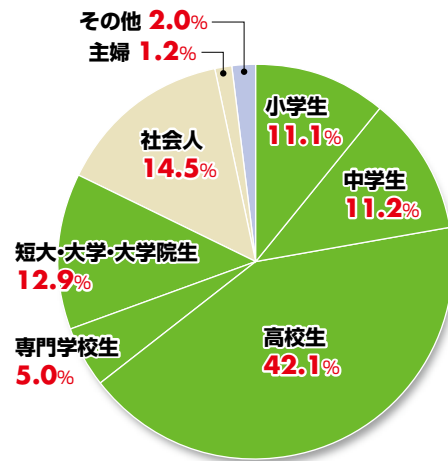
今年6月に実施いたしました、平成22年度第1回（通算第7回）日本語検定について、受検者数、受検者の学校・所属別割合と、各級の認定率をご紹介します。

◎平成22年度第1回（通算第7回）

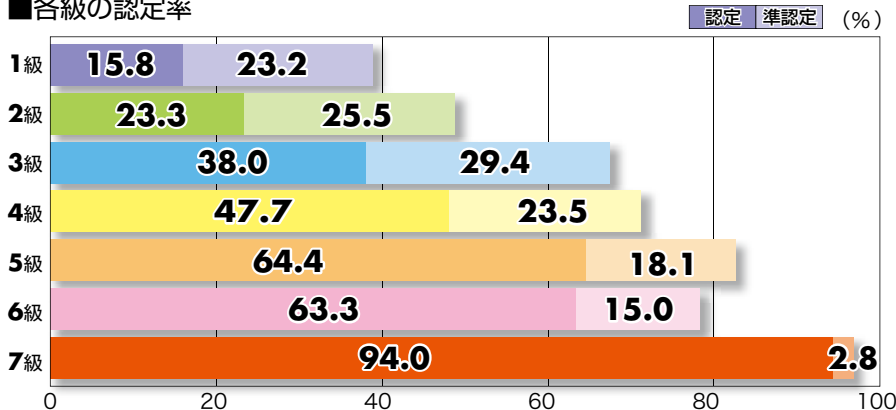
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の学校・所属別割合



■各級の認定率



採点室から

「読めるけれど書けない？」—22年度第1回より

日本語検定では、数は多くありませんが、毎回、各級で「漢字を書く」問題を出題しています。その多くは、文章中のカタカナで書かれた語を漢字にするという形式の問題です。もちろん、その語の意味や用法を理解していないと正しい漢字は書けないわけですが、正答率を見ると、「漢字を書く」力が全般に弱くなっていると考えざるをえないようです。

■6級

1. 最近では、テレビ番組などを通して、特定の方言が全国のチュウモクを集めることもあります。
(注目—正答率66%)
★漢字自体は難しくないと思われそうですが、「中目」とする誤答が多くありました。
2. 今日では、共通語は全国的に広まり、よその地方にリョコウしても言葉が通じないという事はほとんどないでしょう。
(旅行—正答率76%)
★「旅」のつくりの部分の間違った人や、「族行」という誤答も散見されましたが、まずまずのできごとということになるのでしょうか。

■4級

1. しかし、武力を放棄することはヨウイなことではありません。
(容易—正答率51%)
★「用意」とする誤答もいくつかありましたが、多かったのは「易」の字が正確に書けない（「日」の下に横棒を書くなど）誤答でした。
2. その欲望の実現に他者がショウガイとして立ちはだかったとき、武力によってそれを排除しようとするのが戦争です。
(障害—正答率67%)
★誤答としては、「生涯」「傷害」、そして「障外」が目立ちました。

■2級

1. まず一か所で三年間のトテイ見習いをする修業時代を経てから、試験に合格すると、職人として…
(徒弟—正答率31%)
★「ト」を「従」や「途」、「テイ」を「程」や「定」とする誤答が多くありました。これは、この語の意味が理解できない、この語が自分の使用語彙の中にないという人が、かなりいたためだと推察されます。
2. また庶民のレベルでも、ドイツの手工業、産業のコンカンをなす親方（マイスター）制度は、旅・遍歴を必須としていた。
(根幹—正答率64%)
★「根」も「幹」も小学校で習う漢字なのに、2級で……。 「根」はほとんどの人が書けるのですが、「幹」は「管」「冠」「間」などと間違えた人がかなりいました。

いかがですか。多くの人が、「へえー、この字が書けない人がこんなにいるのか」と思われたのではないのでしょうか。しかし、いざ自分が問題を解く立場、カタカナを漢字にする立場に立つと、案外書けないものかもしれません。特に、最近では、高校を卒業してからは自分の手で漢字を書くという機会がほとんどなくなった、という人も多いのではないのでしょうか。パソコン、ワープロ、ケータイ全盛の時代ですが、「自分の手で書く」ことの大切さを思い出してみることも必要ですね。

平成 22 年度第 1 回 個人表彰 受賞者が決定しました！

日本語検定委員会では、毎回、以下の二つの賞を設け、成績優秀者を表彰しています。

■日本語検定委員会賞 各級の成績優秀者

■時事通信社特別賞 各級の年長および年少の成績優秀者

1 級受賞者のみなさまをご紹介します。おめでとうございます。

日本語検定委員会賞

- ◎吉田敏治さん (東京都)
- ◎木戸遥祐さん (愛知県)
- ◎岩溪戒二さん (埼玉県)
- ◎玉 たみ子さん (青森県)
- ◎T. A. さん (東京都)
- ◎M. H. さん (東京都)

時事通信社特別賞

年少

- ◎堂上将宗さん (兵庫県)
- ◎宮城周平さん (沖縄県)
- ◎加藤陽介さん (千葉県)
- ◎塚本 聡さん (埼玉県)
- ◎加藤広嗣さん (埼玉県)
- ◎瀬川美沙さん (北海道)

年長

- ◎島崎敏夫さん (石川県)
- ◎田川文夫さん (長崎県)
- ◎合田昌平さん (大阪府)
- ◎有廣清子さん (広島県)
- ◎諸岡節生さん (大阪府)

2～7 級受賞者のお名前は、ホームページに掲載しております。

1 級で日本語検定委員会賞 最優秀賞を受賞された、吉田敏治さんにお話をうかがいました。

一生使える道具を、手に入れよう

仕事は、日本語で人に語りかけ、納得を得て進めるものです。グラフやチャートは威力がありますが、あくまでも参考資料ですね。私は、道具としての日本語に自信を持ちたくて、日本語検定に取り組みました。

認定（合格）のためには、領域別基準もクリアする必要があります。苦手領域の克服は必須ですね。私の場合、敬語、文法、表記といった日本語ルールの知識があいまいでしたから、これらの領域の問題には「答えが当たれば喜ぶ」のではなく、「解説文の内容を当てられなければ悔しがる」という意識で臨みました。日本語検定の教材は解説がくわしいので、この方法は効果的でした。

日本語検定の学習成果は、一生使えます。たとえば、解説でよく引用される「敬語の指針」（文化審議会答申）は、自己表現のよき伴走者であり、読者への優しさにあふれています。今後も折に触れて読み、相互尊重文化（思いやり）を身につけたいと思っています。



ごけん質問箱

回答者
日本語検定委員会研究主幹
川本信幹

「ごけん質問箱」では、皆様から寄せられた日本語に関する質問にお答えいたします。

送り先につきましては、最後のページをご覧ください。

【本山純子様よりのご質問】

質問 様々な年齢の人が集まるダンス教室で、先生が「靴をまとめて注文しようと思いますが、買いたい人はいますか？」と尋ねたときのことでした。生徒の一人が私を指さして、「私たちは買いませんが、彼女が買いたいそうです」と言いました。私を「彼女」と指さした人は年上でしたが、あまりいい気持ちはしませんでした。このごろ年下の人が年上の人に向かって、「彼女」と言う場面によく出会いますし、その場合、悪気はないのわかります。

「彼・彼女」という言葉は、目上の人、年上の人に使ってもよいのでしょうか？

回答 「彼」と「彼女」は、いずれも西欧語の訳語として明治時代に使われるようになったものです。「かれ」という日本語は、古代からありましたが、例えば英語の「he」の持つ意味とは異なる意味で用いられていました。男性に対する三人称代名詞として用いられるようになったのは明治時代前期からですが、「彼女」はかなり遅れて明治時代中期から一般化しました。いずれも、離れたところにいる人、その場にはいない人を話題にするときに用いたもので、すぐそばにいる人を指して用いることはありませんでした。

自分のそばにいる人が、しかも、自分のよく知っている人が、自分を「彼女」と言ったのを本山さんが不快に思われたのは当然です。本来、わが国では、このような英語崩れのような日本語の使い方をしていませんでした。

日本語は、英語などに比べてキメの細かい表現を持っています。わが国では、すぐそばにいる人のことを、相手に言う場合には、「こちら」とか「この方・こちらの方」とか言う立派な表現があります。少し離れている人には、「あちら」とか「あの方・あちらの方」とかを使います。

「こちら・そちら・あちら」は改まった言い方、「この方・その方・あの方」は「方（かた）」が尊敬表現ですから、より敬意が強くなります。「こちらの方・そちらの方・あちらの方」は改まった表現に尊敬語が付いていますので、さらに敬意は強まります。目上の人・年上の人には、こういう言い方をしなければなりません。

受検団体の声

豊かなところは正しい日本語から

朝日大学法学部教授 田中末男先生

本学が日本語検定を導入したきっかけは、学生の活字離れが進み、正しい日本語を書けなくなったためです。このままでは試験やレポートが満足に書けないばかりか、就職試験や面接等でも不利になります。

しかし、これはたんにスキルの向上や試験対策のためだけではありません。いうまでもなく言葉は社会生活の基礎です。正しい日本語を身につけ、さらに美しく磨きかけることは、感性を豊かにし、知性を高めることです。先日、新聞のコラムに、「昨今、

言葉で感情を表せず『キレる』子が目立っている。背景には言語力の低下があるとされる」という指摘がありました。携帯電話の普及により、面と向かって言葉を交わすことが不得手になってきています。人間教育の根本に言葉があることを忘れてはならないでしょう。



受検者の声

日本語検定合格は、働く自信に

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 店舗勤務
川越市立特別支援学校・平成21年度卒 山本萌夏さん

日本語検定の受検案内が来たときには、多少の心配はありましたが挑戦してみたいと思いました。以前から国語は好きで、特に漢字の勉強は自分から進んで取り組むこともあり、プリントを担当の先生から頂いて勉強することもありました。

検定問題はやはり日頃から大切にしている対人関係に必要な丁寧な言葉の言い方や、間違いやすい漢字など広い範囲からの出題でした。できたのかなという心配も少しありましたが、無事合格することができました。今までに検定というものは一度も受検することなく高校生になっていました。合格ということで、自分が認められた、やればできるんだと実感することができ、ものすごくうれしかったし大きな自信になりました。

高校生活では、就労・就職活動の一環と

して、産業現場等における実習を3年間で7回も行き、3年生の実習から今の会社にお世話になりました。

私の持ち味は、性格が明るく、何事もポジティブに考えられること、相手に合わせて会話を楽しむ事ができるところです。

現在は、新入社員として気持ちの良いコミュニケーションをとることを一番大事にしています。職場の方々とはみんな先輩で一番年下の身ですので、敬語や丁寧語を自然に話せるようにと意識もしています。

何よりお店に来て頂くお客様に、気持ちよくリラックスして過ごしていただける様にと精一杯心づかいに努めています。仕事でつまずいた時、あの日本語検定で合格できた時の自信が後押ししてくれています。



社会参加の前提として

聖パウロ学園高等学校 二俣潤也先生

「日本人だから日本語なんて簡単」。こう思っている生徒は多い。日常会話、メールのやりとり、ブログに載せる文章、テレビの

視聴などで困ったことはないというわけだ。しかし、教育に携わる者の共通認識として、「生徒の日本語力は年々落ちている」というのがある。ここに最大の問題がある。つまり日本語が、生徒が日頃親しむ日本語（集団語である若者語）と、我々が期待する、いわゆる日本語に乖離してしまっているのだ。勿論、ことばとは変化するものであるから、生徒の日本語の乱れが問題だと即座に言うことはできないし、年を経るにつれ若者語から離れることも考えられる。しか

し教育の目的が、社会の形成者として必要な資質を備えた国民の育成である以上、生徒を若者語に留まらせるわけにはいかず、社会で通じる日本語が使用できるよう導かなければならない。

さて、日本語検定は日本語を6領域に分けているため、教師は的確な指導ができる。また、生徒も自分の弱点を把握できるので、生徒自身が意識を持って、取り組むきっかけとなる。社会生活において必要な日本語を効率よく学習するには、最適である。

ことばとは、集団の中で通じるものである。生徒が若者語しか知らなければ、社会に出た時にコミュニケーションが十全には行われぬ。本学園では日本語検定を、生徒が所属するそれぞれの小集団を越えて、社会と関わりを持ち、その中で自己を実現するために必要な検定と捉えている。

受検団体の声



新聞と日本語

読売新聞東京本社広告局管理部 建内潤子さん

「自分は果たして日本語を正しく使えているだろうか？」そう感じていたときに日本語検定に出会いました。新聞社は日々、正しい日本語を心がけ、読者と向き合っています。日本語を扱う新聞社で働く人間として、自分も正しい日本語を身につけようと思い立ち、公式問題集を手に取りました。勉強を重ねた結果、無事合格。ほっと胸をなでおろしました。

日本語を勉強して改めて、日本語特有の作法や美しさに気づきました。相手や自分の立場を意識して表現を何通りにも使い分ける敬語や四季の情景にあわせて織り込む時候表現の多様さなど、日本語には独自の伝統美や様式美があります。相手を思いやり、配慮したりすることで育まれた言葉だということも再認識しました。

日本語検定受検は私にとって、新聞社員としての自信だけでなく、表現の幅を広げ、語彙に豊かさをもたらしてくれたと感じています。これからは2級保持者として正しい日本語で新聞作りに携わっていきたいと思います。

受検者の声



募集

第2回「日本語大賞」作品募集のお知らせ

日本語検定委員会が主催する「日本語大賞」は、日本語をテーマにしたエッセイ、作文を広く募集し、優れた作品を表彰するコンクールです。

第2回のテーマは、「日本語の魅力」。

日本語の美しさやすばらしさなど、あなたの感じる日本語の魅力を自由に文章にしてください。

たくさんのご応募をお待ちしております。

■募集テーマ「日本語の魅力」

■募集期間 平成22年8月2日(月)～9月30日(木) ※当日消印有効

■募集部門 一般の部 2000～3200字
 高校生の部 1200～2000字
 中学生の部 1200～2000字
 小学生の部 800～1200字

詳細は、下記 URL をご覧ください。

http://www.nihongokentei.jp/pdf/about/nihongo_vol2.pdf

にほんご にほんご劇場



絵：福政真奈美

PR

「3級に挑戦しよう」という方に最適!!

検定試験前に模擬練習ができる通信教育「日本語検定3級合格講座」

■ 社会人の教育を支援して54年の株式会社アイ・イーシーが日本語検定委員会の監修のもと開発した通信教育講座です。本講座は、日本語検定の公式テキストと模擬問題集、と添削課題で構成されており、検定試験に必要な内容が凝縮されていますから、最低限の学習で確実に合格できるようになっています。また、任意の模擬試験は、本番と同じ試験結果（個人カルテ）が出るので、弱点把握や試験直前の腕試しができます。詳しくはコチラ <http://www.iec.co.jp/kj/>

■受講期間：2カ月
 ■受講料：18,900円

■教材構成：学習のすすめ方1部、テキスト1冊、問題集1冊、添削課題2回、任意模擬試験1回、日本語検定受検のしおり



(お問合せ先) 株式会社アイ・イーシー TEL:03-3263-4474 Email:info@iec.co.jp



「かぶとを脱ぐ」

自分の力が相手に及ばないことを認めて降参すること。

例 君の負けはだれが見たって明白なんだから、そろそろかぶとを脱いだらどうだ。



日本語検定委員会研究主幹 川本先生の新刊です！！



日本語の番人による、面白さ抜群の日本語読本！

日本語 鶺鴒の目 鷹の目 烏の目

川本信幹・著

鶺鴒の目＝読者の目線と水平な位置にたって現代の日本語に着目。
鷹の目＝高尚な文学作品の文脈から美しい日本語の復権を提唱。
烏の目＝嫌われることも覚悟で日本語の誤用に嫌みをたっぷり。
梟の目＝闇に覆われた日本語の深淵部にも目を光らせます。

東京書籍刊 定価：1470円（税込）

プレゼント・クイズ

問題：「にほんご にほんご劇場」で、取り上げたことわざは何でしょうか。○○の部分をつまんで完成させてください。

『○○○を脱ぐ』

はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、下記日本語検定委員会までお送りください。抽選で20名様に、日本語検定委員会特製にほんごストラップをプレゼントいたします。平成22年12月31日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。（応募いただいた個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。）



質問をおよせください！

日本語に関する質問を、お手紙やメールで、日本語検定委員会「ごけん質問箱係」までおよせください。
いただいた質問の中から、日本語検定委員会研究主幹の川本信幹先生がお答えします。
*ご質問は、日本語検定を受検された方か、受検を検討されている方に限らせていただきます。
*日本語に関する質問以外にはお答えしかねますので、ご了承ください。

メールアドレス

info@nihongokentei.jp

特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
【お問い合わせ先】0120-55-2858
<http://www.nihongokentei.jp>